

## <第1学年の実践>

### I 学習指導案

- 1 主題名 「誠意のある生き方」 D-22 よりよく生きる喜び
- 2 ねらい 人間の誠意ある生き方や良心の気高さに感動し、人間として誇りをもって生きようとする心情を育てる。
- 3 教材名 ネパールのビール (学研 「新・中学生の道徳 明日への扉」1)
- 4 主題設定の理由 **生徒の実態** **学習指導要領の内容** **教材を活用した学び方**

学年で分析を行い、以下のように実態と課題を把握し、学年としてどのように改善するかの方針をたてた。



学年としてどのように改善するかの方針として  
 ①より多くの教員で生徒と関わること  
 ②道徳と総合(キャリア学習)との関連を引き出すことを決めた。

①の多くの教員で生徒と関わることについては、大規模校における課題である。シャッフル道徳を実施することで、多くの教員が生徒と関わり、より多様な考えを引き出し、生徒にとって関われる教員が増えるようにしたい。また、教材を教員の教科や強みが生きるようにしたい。

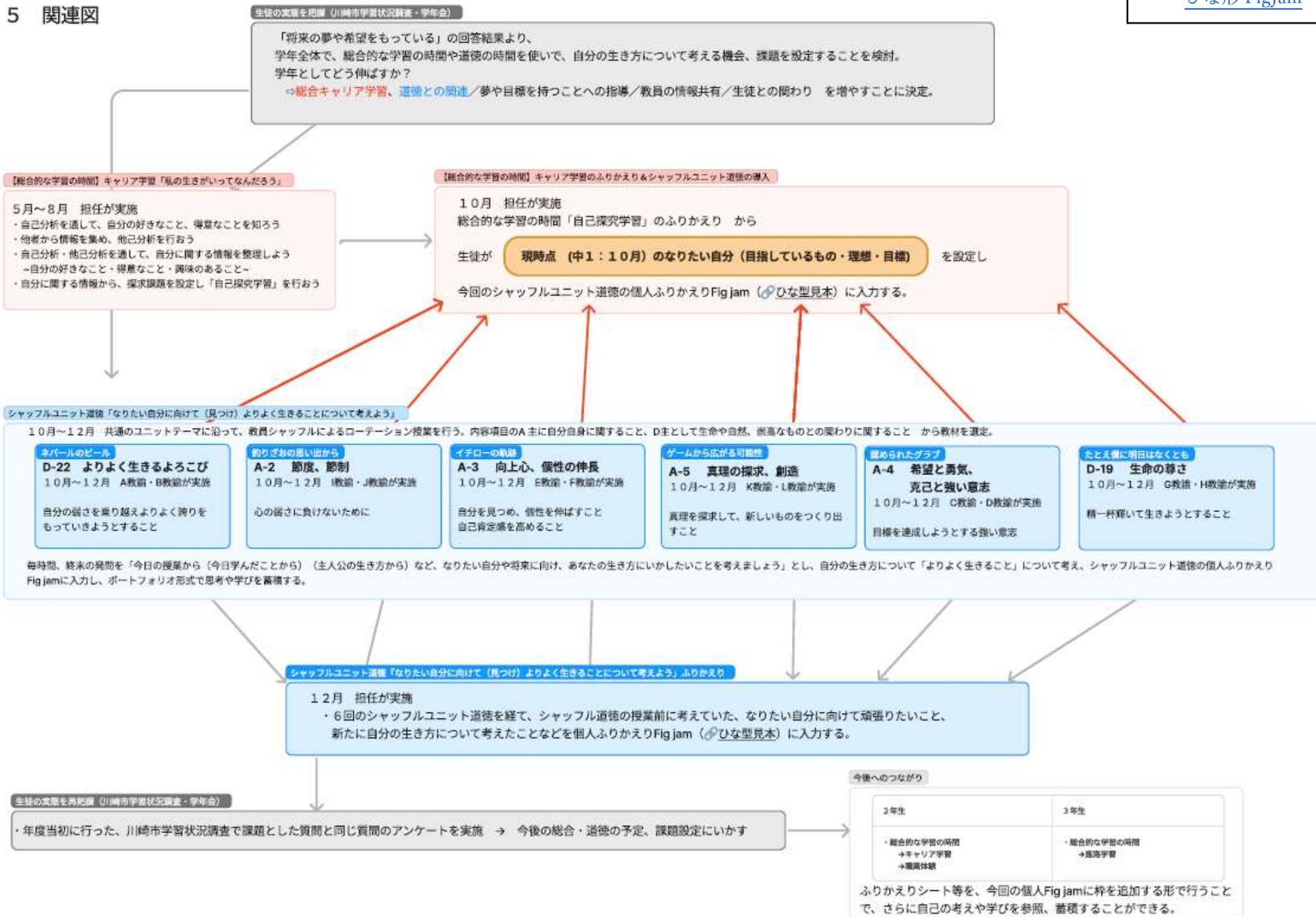
②の道徳と総合との関連を引き出すことについて、「なりたい自分に向けて(見つけ)よりよく生きること」を共通のテーマとし、学びのつながりを引き出すように、「関連図」(5を参照)を考えた。

指導の要点として、**自分だけが弱いのではないということに気付かせ、自分を奮い立たせることで目指す生き方や誇りある生き方に近づけるということに目が向けられるよう、自分の理想とする生き方に向け、主人公の反省やチェトリ君の生き方から自分の弱さを乗り越え、よりよく誇りをもって生きようとする**ことについて考えさせたい。

- (1)問題意識を持たせるために、**関連図(5を参照)を考え、単発ではない授業展開を行う。総合の学習→学習前の考え→シャッフル道徳→学習後の考えを、1つのワークシートに、ポートフォリオ化することで、生徒が自ら学びをつなげられるようにする。**
- (2)多面的・多角的に捉える授業展開…**クラス全体でも、FigJamの活用をする。FigJamのスタンプ機能や付箋機能で、生徒が**

**考えを簡単に学級全体に表現し、それをもとに、生徒同士が意見交換をしたり、教師が生徒の意見をつなげたりするような活用方法を行い、生徒が考えを深められるようにする。**

## 5 関連図



6 学習の流れ

事前①	総合キャリア学習の振り返り	記述 (Fig Jam)
本時	<p>&lt;学習活動&gt;○基本発問◎中心発問</p> <p>1 ネパールドラカ村について写真から知る。</p> <p>2 教材「ネパールのビール」の範読を聞く。 ○(補)「1回目にチェトリ君がビールを買ってきたとき、なぜ拍手で迎えたのでしょうか」</p> <p>○2回目に、チェトリ君が帰ってこなかったときの私の気持ちを示してみよう。</p> <p>○「私」はなぜ、肩を抱いて泣いたのだろうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>なりたい自分に向けて(を探し)よりよく生きることについて考えよう</p> </div> <p>3 自分自身の生き方について考える。 ◎なりたい自分に向けて、私やチェトリ君の生き方から考えよう。</p>	<p>&lt;・支援と留意点*発問の意図 ☆評価の視点&gt;</p> <p>・地理や経済面の補助説明を入れる。シャッフル道徳では社会科の教員が担当する。</p> <p>・全体共有 Fig jam に自分の名前スタンプを用いて、グラフ上に示す。 →スタンプの位置をもとに、意見交換の後、数名に理由を発表させる。</p> <p>*チェトリ君を心配する一方、信じきれない「私」について捉え、人間誰もが持つ弱さについて気付かせる。</p> <p>☆道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしていることに着目する。</p> <p>*「私」が弱さや酷さを自覚し、胸がいっぱいになったことに気付かせる。</p> <p>*なりたい自分に向けて、弱さやを乗り越え、誠実に生きようとするについて考える ☆現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目する。</p>
事後②	総合とシャッフル道徳全体の振り返り	記述(個人振り返り Fig jam)

7 本時の評価の視点 (解説から抜粋)

視点1 <多面的・多角的な見方・考え方>

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしていることに着目する

視点2 <自己を見つめる>

- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目する

## II 授業記録

【導入：シャッフル道德のねらいを振り返る、ネパールのドラカ村について写真から知る】

T：道德の時間では、総合の学習の時間に考えていた、「なりたい自分に向けて(まだ考え中の人は、「なりたい自分を探し)」で、よりよく生きることについて、各回のお話から、自分の生き方に向けて、考えてきました。今までに3人の先生と3つのお話を通して考えてきたところです。

(板書：ねらいと学習の流れ、前時までのシャッフル道德の振り返りに記載されていた数名の意見)

今日は、この『ネパールのビール』というお話から考えるのですが…

生徒がネパールの地理について知り、本時教材に関心が持てるよう山脈のラベルのついたネパールのビール瓶を準備した。

S：あっ、ビール瓶。

T：さて、ネパールという国なのですが、どんな国とか、ネパールについて知っていることを近くの人と、確認してください。

S：周囲の生徒と自由に意見交換(10秒程度)

T：では、S1さん話していたけれど、どんな話をしていたか教えてください。

S1：国旗が面白い形をしている。

S：えっそうなの？知らない。

T：確かにそうですね。こういう形をしていますね。S2さんはどうですか？

S2：S1さんと同じです。

T：なるほど。国旗の印象が強いみたいですね。知っていることがあった人もいたと思いますが、あまり印象がない、知らないというのもちろほら聞こえてきました。私も社会科の先生なので知ってはいますが、今日の授業でみんなに紹介したいと思って調べてみたら、家の近くにネパール料理屋さんがありました。

S：えっ！あるの？

T：調べてみると結構あります。みんなの住む川崎市にも結構あります。

S3：えー、家の近くインディアンしかない。

T：そう！インディアって言っているけれど、ネパール料理屋さんにもカレーがありました。実はネパール料理はS3さんが言っている、インド料理と似ていて、インドカレーみたいなのも食べるそうです。ということは、ネパールとインドは位置的に…

S：近い！

T：そう！隣の国でした。あとは、餃子みたいなものがありました。餃子と言えば…

S：中国！

T：ということは、インドも近くて、中国も…

S：近い！

T : ということになります。中国とインドの間にネパールがあります。(TV で授業 FigJm 地図を表示)

そして、私が食べたサモサというとても美味しかった料理ですけれども(写真)、中身がこんな感じで、何が入っていると思いますか？

S : いも？カレー？

T : よく見えましたね。これカレー味のいもが入っていました。さて、インドの近くということは、ネパールの気温はどうか？

S : 高い！

T : そうです。暑いです。このグラフを見てください。東京が青で、ネパールの気温が青線です。

T : なのですが、サモサに入っている、いもはジャガイモです。日本だったらどこでとれる？

S : 北海道！

T : 北海道って暑いですか？

S : 寒い！

T : 暑いのに寒いところでとれるジャガイモをよく食べるということなんだけど、ネパールってどんな国なのでしょうか？

S : 山！標高が高い！

T : そうですね、実は、ビール瓶のラベルにも山が描かれています。ではネパールにどんな山があるのかということなのですが、(Google map の航空写真を表示)みんなの知っている山はあるかな？

S : エベレスト！世界一高い！

T : そうですね、今日は、この山々の中にあるネパールのドラカ村という地域のお話です。(写真)ちなみにそんなネパールの人々の1か月平均給料を近くの人と予想してみましょう。(グラフ資料)資料により、諸説ありますが日本は30万円くらい。

- 周囲の生徒と自由に意見交換(10秒程度)、20万円くらい、40万円くらいなど -

T : ネパールは、2万5000円、諸説ありますが。(グラフ資料の上に貼ったふ付箋をはがす)

S : えー。

T : ということは、今日のお話の中では、ネパールのドラカ村を訪れた日本人が、ネパールの人にビールを買うお遣いを頼むのだけでも、日本の感覚でこれで足りるだろうと渡したお金は、ネパールの人にとってどうかな？

S : 高額！

T : そう、高額になるよね。ということも、頭に入れて、お話を読んでみましょう。

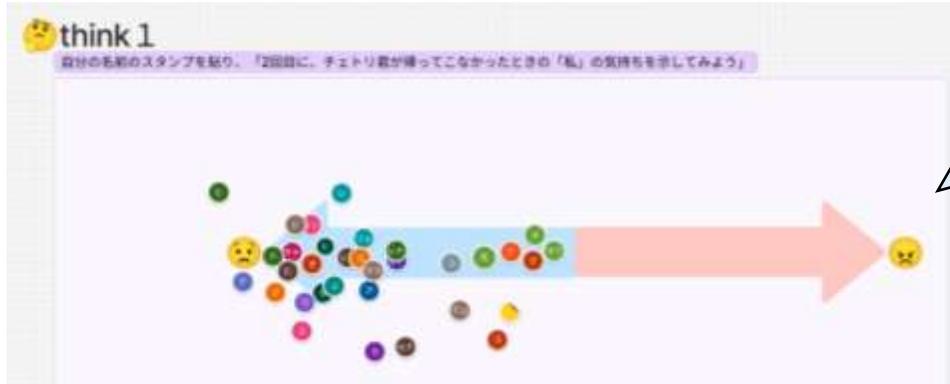
- 教師の範読を聞く -

T : チェトリ君や主人公の「私」の生き方・考え方から、自分のことについて考えるためにまず、主人公「私」の、チェトリ君に対する気持ちを考えてみましょう。

ネパールの地形・気候・金銭感覚について、理解し、簡潔な言葉で答えられるような問いかけの工夫をした。

2回目にチェトリ君が帰ってこなかったときの私の気持ちを示してみましょう。

Fig Jamの矢印の所に、自分のアイコンのスタンプを貼ってください。



スタンプを押すだけの簡潔な操作で意見を示し、自由な意見交流の時間を多くとれるように工夫した。間の気持ちも示せるよう、矢印にした。



《自由に動いて活動 集団1の見取り》

S4: お金とってんじゃない? って思ってる。

S5: えー。心配したり不安なんじゃない?

S4: 最初はそうだったけど、周りの人が逃げたって言ってるの聞いたから、逃げたのかなって…

S5: とったって言っているけど、私(主人公)は周りの人に、相談しているから心配していると思う。

S4: 確かに、主人公は、いろいろな人に聞いているのか…。 あなたはどう思う?

S6: チェトリがかわいそうって思ってると思う。

道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。(視点1)

《自由に動いて活動 集団2の見取り》

S7: 私が心配している感じをすごく感じるから…

S8: なんで?

S7: 自分が大金を渡したことを、いい子の一生を狂わせたって言ったり…

S8: でも、うちだったら、お金渡してるし、ちょっと怒るかも。

スタンプの位置を参考に交流相手を選んで意見を交換することができた。

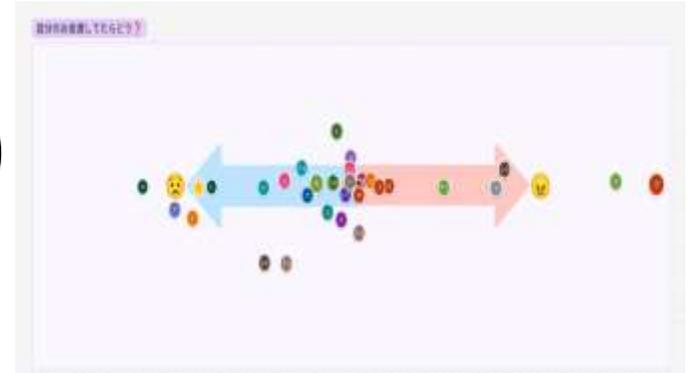
T: もし、自分のお金ならってちらほら聞こえたけれど、隣に、この矢印とスタンプのコピーがあるから、

もし自分のお金って考えたときに位置が変わる人は動かしてみましょう。

《集団1のつぶやき》

- S5: 自分がお金出したら？ってこと？それは嫌だ。  
S4: (怒り方面に、スタンプを移動)  
S5: すごく怒ると思ったけど真ん中の人が多いね。

全体の意見が一目で分かるので、その場にいない生徒の考えについてもふまえた話し合いが行われていた。



この後、スタンプの位置や、その生徒の交流相手をつなぐ形で全体共有を行った。



- S4: (主人公、私について) お金を渡して戻ってこないことに怒りはあると思うけれど、チェトリ君のいいところを知っているから、そんなはずもないと思っていますと思ったからです。
- S9: (主人公、私について) 泣いていたし、自分がこういう風にお金渡しちゃったのはダメだったかなあって。
- S10: (自分だったら) 自分のお金で、そのまんま何日もどっか行って、みんなが逃げたのでは？って言っていたらすごい怒る。
- S11: (自分だったら) 自分のお金渡して、その人が逃げたら、自分がその人を犯罪者にしたように思うから心配。だけど、振り切れない。
- S12: (自分だったら) S11さんに似ていて、主人公も「あんないい子の一生を狂わせた」と言っているから、自分も少し、心配になる。

T: 心配はしつつ、みんなが貼って話してくれたように、主人公にも、皆さんにも、それだけじゃない、いろいろな感情もあるんだよね。信じきれないなあってことも誰にでもあるんだと思います。では、今日は私という人間とチェトリ君という人間が出てきました。みんなそれぞれいろんな考えがあったように、この2人も、どんな人なのかっていうのを考えてほしいです。

この2名の生き方、考え方のいいなと思うことを、付箋の色に従って書きましょう。 班のボードを大きくして、班の人と話しながら付箋を貼ってください。

# 1 班

S1: まずいったん付箋を貼って、  
みんなが貼り終わったら話そう。

S13: 似ている意見を近くに貼ろう。

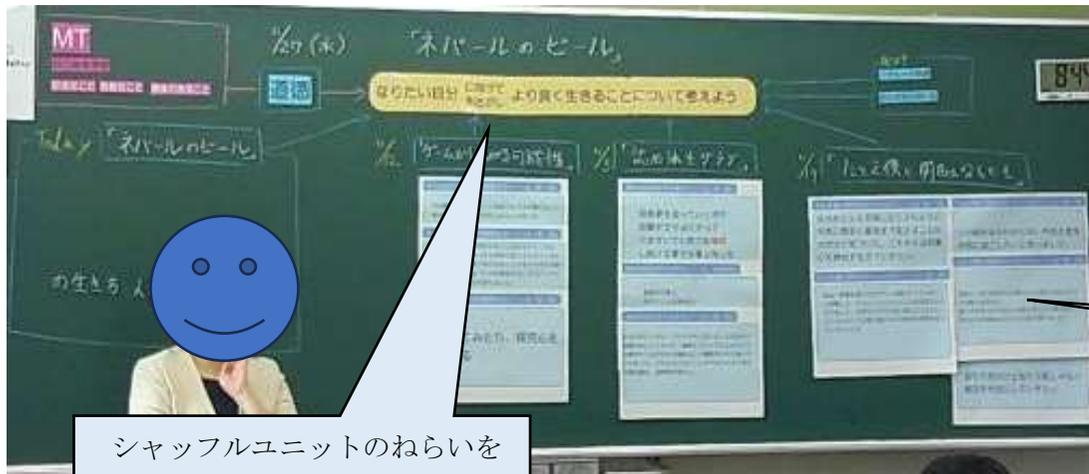
(各班で、付箋の内容について、そのように考えた理由や似ている点などの  
意見交換を行った。)

T: (この後、全体共有として、付箋の整理(色別の並び替え)を行った。)

T: 色分けされた付箋が横に整理されたので、  
クラス全員分からのチェトリ君の良いところ、  
私の良いところが集まっています。この付箋を  
参考に、今日の授業から考えた、自分の生き方  
について考えたことを、個人のFigJamに  
入力しましょう。

(個人の振り返りの内容や、評価については考察に入力した。)

【板書】ねらいと学習の流れ、前時までのシャッフル道徳の振り返りに記載されて  
いた数名の意見



シャッフルユニットのねらいを常に意識できるようにした。



話し合い活動の重複にならないよう、付箋の全体共有はあえて行わず、全員の付箋を整理したものを提示して、個人の振り返り活動へ移った。

これまでの学びの蓄積が分かるようにした。

### Ⅲ 考察

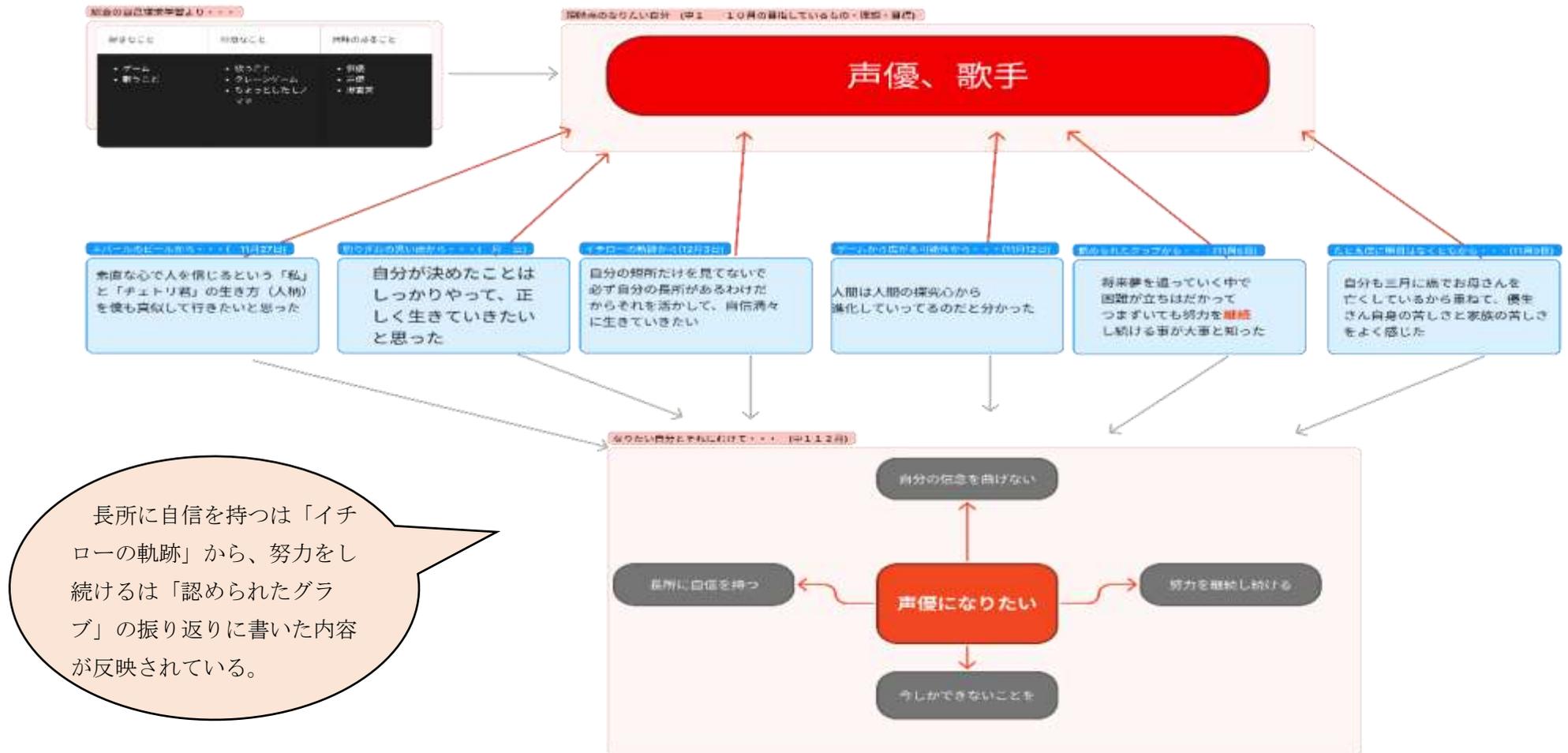
(1) 問題意識を持たせるために

単発ではない授業展開

学習状況調査の意識調査から学年でねらいを設定した、総合との関連×学年教員によるシャッフル道德

総合のキャリア教育との関連と、シャッフル道德で扱う教材6つの関連を引き出し、最後の振り返りでは総合終了時に描いていた「なりたい自分」から、各回の道德の考えを踏まえ、より具体的な記載が見られるようになった。

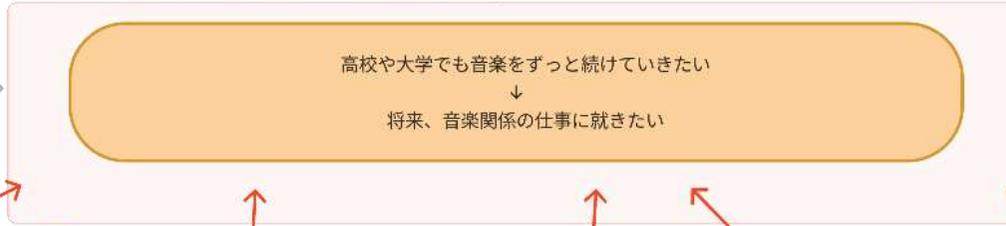
また、FigJam を用いて、生徒のワークシートを図式のようにし、ポートフォリオにすることによって自ら、学びをつなげている記載が見られた。



総合の自己探求学習より・・・

好きなこと	得意なこと	興味のあること
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽</li> <li>読書</li> <li>部活</li> <li>テレビをみること</li> <li>ゲームをすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノを弾くこと</li> <li>庭拳・毛筆</li> <li>裁縫</li> <li>ものをつくること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽</li> <li>ファッション</li> <li>インテリア</li> <li>料理</li> <li>読書</li> </ul>

現時点のなりたい自分 (中1 10月の目指しているもの・理想・目標)



ネパールのビールから・・・(11月 27日)

今回の透の「私」はもしかしたら、テトリ君を犯罪者にさせてしまっていたかもしれない。その判断は誤ったことだったが、それを「私」は深く反省していた。自分の悪い部分を反省する部分を、私も取り入れていきたいと思った。また、テトリ君の「罰まれたことに責任をもつ」という考えも、これからの自分に取り入れていきたい。

釣りざおの思い出から・・・(12月 10日)

私は時々勉強などをしていないのにやる気がおこらなくて、他のことをしてしまう時があります。なので、これからは先のこともしっかりと見通して計画的に行動をしてやるべきことを優先してできる人になりたいです。

イチローの軌跡から(11月 3日)

イチロー選手は、自分に満足しているからこそ野球で素晴らしい成績を残すことができたのだと思います。また、強い信念をもって生きているから自分に満足できるのだと感じました。私は、これからはもっと強い思いをもって、自分の長所も見つけて自分に満足ができる人になっていきたいと思えます。

ゲームから広がる可能性から・・・(月 日)

30年後の未来について考えてみて、世界には様々な可能性があることを知りました。これからは、未来の可能性について考えて自分の考えを広げていきたいです。また、将来どんな仕事に就くかわからないから今から世界の「可能性」について考えていきたいと思えました。

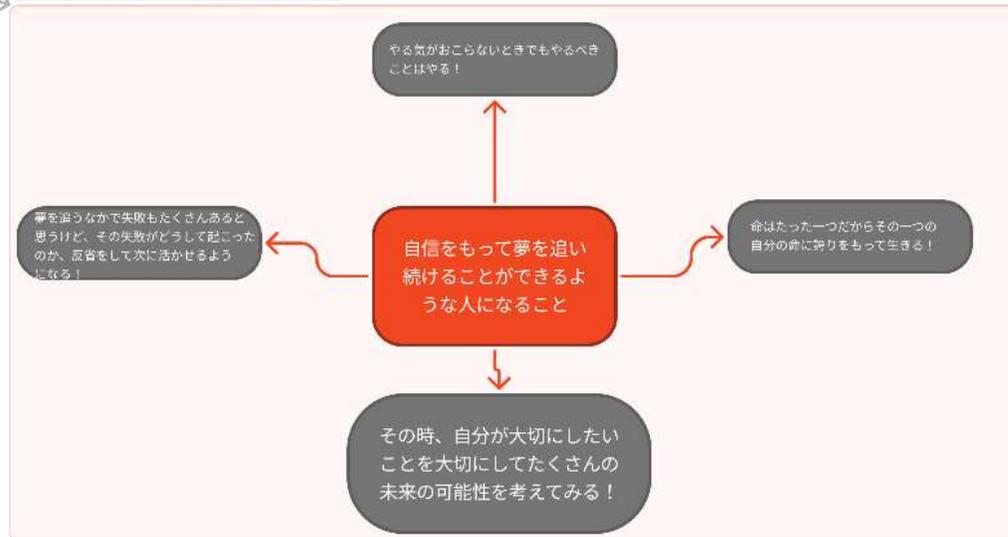
認められたクラブから・・・(11月 5日)

今日の学習を通して、自分の夢を追いかけるためにはその事に対して強い思いをもつことが大切なのだと感じました。もし挫折しかけても、どうして失敗したのか、これからどうしたら成功するのか、自分にはこれできないのか、・・・などをじっくりと考えて自分の夢と向き合っていきたいです。

たとえ僕に明日はなくてもから・・・(11月 19日)

今回の学習を通して、改めて命の大切さを実感しました。私は前からやりたいことや目標はたくさんあったのですが、これからは今までよりも目標や夢、やりたいことをたくさんもって人生をより楽しく過ごしていきたいと思います。

なりたい自分とそれらにむけて・・・(中1 12月)



もともと将来の夢や目標がある生徒は、その実現のためにどんな人になるか深く考察していた。

総合の自己探求学習より・・・

好きなこと	得意なこと	興味のあること
<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を描く事</li> <li>歌を歌うこと</li> <li>本を読むこと</li> <li>泳ぐこと</li> <li>体を動かす事</li> <li>友達と遊ぶこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を描く事</li> <li>歌を歌うこと</li> <li>体を動かすこと</li> <li>ものづくり</li> <li>国語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙</li> <li>韓国語 (他国語 語)</li> <li>料理</li> <li>ピアノを弾くこと</li> <li>ダンス</li> </ul>

現時点のなりたい自分 (中1 10月の目指しているもの・理想・目標)

困っている人がいたら手伝う。コツコツ努力できる人になりたい。小さいことに積み重ねができる人になりたいです。思いやりがある人、よく周りを見ている人、自分の好きなことを探求して、深められる人になりたい。誰かの支えになれる人になりたい。周りの人を笑顔にできる人。...

ネパールのビルから・・・ (11月 27日)

ネパールのビルを強んで、自分が怪をする事もない。道に山を一歩もかけて歩いて自分のためではなく他の人のために買に行けるチャトトリくんは思いやりがあって優しいなと思いました。主人公が最後までチャトトリくんを信じていたのは、114ページの2行目「その土間でベッドで寝ているようになって勉強している」ような子が、お金を盗むはずがないと思ったからだと思いました。私も、やることは最後までやるのを大切にしたいなこの学習で感じました。

釣りざおの思い出から・・・ (11月 日)

主人公が決めた時間を守れずに、毎に釣りざおを取り上げられてしまったところを強んで、自分が決めた時間は、自分で責任を持って守る (他のことでも同じ) だなと思いました。この学習を通して、自分が決めたことは必ず守り、自分の好きなことに夢中になっても、しっかりと周りを見て行動することが大切だということ学びました。

イチローの軌跡から (12月 3日)

イチロー選手は、自分に自身の持った生き方をしていると思いました。第三者からの評価で自分の生き方を決めるのではなく、自分自身が納得するような生き方をしたいという思いが、イチロー選手は自分のことをよく見れている人だなと思いました。これからは私も、自分のことがよく見れる。小さいことにも自身を持ってるように自己肯定感のある人になりたいなと思いました。誰かから褒められても自分の信を貫く所も、イチローさんの生き方から学びました。

ゲームから広がる可能性から・・・ (11月 5日)

ゲームから広がる可能性で30年後の未来を想像し、考えました。実際に未来について考えることは少なかつたので、この学習を通して、自分の将来や30年後の日本、どのような技術が発達しているのか深く考え、人の探求心を支えるものには、その人のあったらいいな、という思いが詰まっているということに気が付きました。今生活の中で便利に受けている物はたくさんあるけどこの元もって技術が発達して色々な可能性が生まれてくるのだなと思いました。

認められたクラブ

認められたクラブを学んで、岸谷さんの粘り強さや、「勉強は力なり」と、自分の夢を追い求めて追求し、自分の理想だけでなく、相手の要望に答えながらクラブを作ることが大切と気付いたのがすごいなと感じました。岸谷さんの生き方から、私も身近なことや大切なことを、毎日少しずつコツコツと行ってみたいです。

たとえ僕に明日はなくてもから・・・ (11月 19日)

余命2ヶ月と宣告されて、最後まで自分の好きなことを歩み続けている姿を見て、私も自分の命を大切にしたいなと思いました。何事にも一生懸命取り組んでいきたいなと思いました。やりたかったことは諦めないで最後までやって、楽しかったなと思えるような人になりたいです。

なりたい自分とそれに向けて・・・ (中112月)

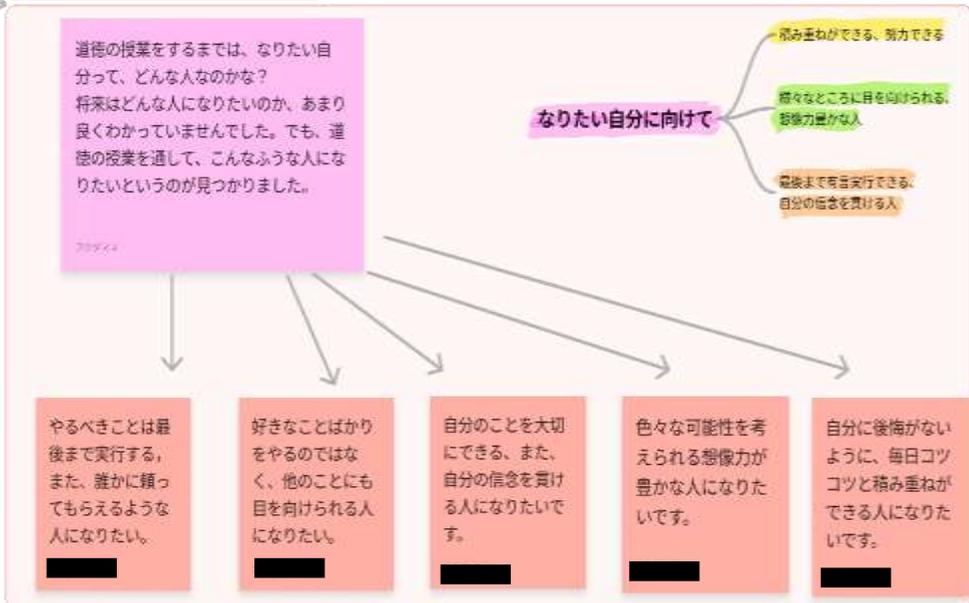
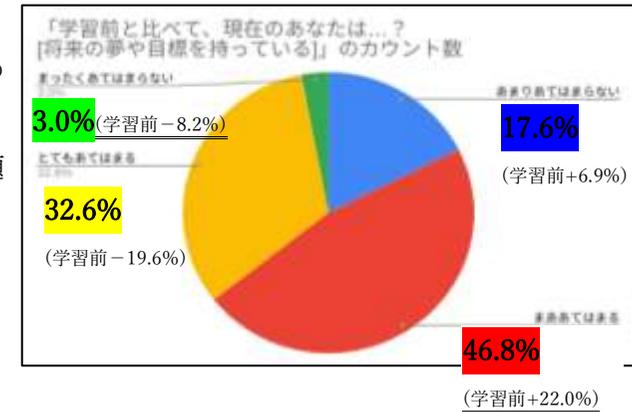


Fig jam は、自分の意見の長さにより枠を広げたり、自分の考えのまとめかたを生徒自らアレンジしたりすることができる。

シャッフル道徳終了後、「将来の夢や希望を持っている」に対して、同様のアンケートを取った。「全くあてはまらない」は減少が見られた。「とてもあてはまる」も減少したものの「まああてはまる」は増加し、否定的に移った回答理由を見ると「考える中で現実が見え、目指しているものが厳しいと感じたから」等、自己の将来をみつめた故の回答であり、課題に学年一丸となってテーマにアプローチすることができたと考えられる。

「生徒に将来の夢や希望を考えさせる」ために、多くの教員で、生徒に関わるということから始めたシャッフル道徳については、以下のような成果と課題があった。



	○成果	△課題
教員より	<ul style="list-style-type: none"> <li>同教材の授業を何回もでき、これまで道徳はこうすればよかったという後悔だけが残っていたが、授業改善をすることができ、指導力が向上したように思う。</li> <li>自分のクラス以外の生徒と教科の授業以外でお話でき、教科の授業では見られない生徒の活躍も発見できた。</li> <li>いろいろな生徒や意見に出会え、楽しい。</li> <li>生徒も、普段関わらない先生がやって来て、学べて嬉しそうだった。</li> <li>授業準備の負担が減った。</li> <li>毎週の授業準備に追われず、授業づくりを熟考し、良い展開を学年で作れた。</li> <li>ペアになっているので、他の先生に相談しながら授業づくりやすい。</li> <li>内容項目に対する、紹介をその教材に適した教員が行え、生徒の思考の幅が広がる。</li> <li>他のクラスの様子を知れる、他クラスの雰囲気づくりの幅が広がる。</li> <li>評価を行うチャンスが広がる。</li> </ul> <p>⇨空きの教員が生まれるので、生徒の発言・活動の記録をしておいてくれると助かる&amp;実態に即した評価できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この内容項目、教材は自分でやりたいなど思いがある時もある。</li> <li>関係性が薄すぎるクラス（教科で教えていない等）は、授業の雰囲気づくりが難しい。</li> <li>普段と違うに対し、緊張等して意見を出せない生徒もいるのではないかな？</li> <li>他の教材のことを研究できていない不安もある。</li> <li>1時間の中での深まりを、引き出すことが難しい。</li> <li>自分のクラスに入る機会が減り、道徳の授業スタイルをつくりにくい。</li> <li>自分のクラスの評価を、空きに見ることは◎でも、各授業回では難しい。</li> </ul>

生徒より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生によって得意なことが違うと思うけど、得意な単元（トキが理科の先生など）の文章を教えてくれていてわかりやすかった。</li> <li>・先生にも、いろんな授業の仕方や視点考えがあり、そこからより深く考えることができた。</li> <li>・毎回違う先生と道徳を学ぶことで、たくさんの先生と交流が深められた。</li> <li>・先生によって、いろんな進め方があり楽しかった。</li> <li>・授業で会わない先生に関わって、この先生はこんな人だったんだと知ることのできるいい機会だなと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒には、成果しか調査していません。</li> </ul>
------	---	---

(2) 多面的・多角的に捉える授業展開

GIGA 端末を使用することには、クラス全体の意見を瞬時に共有し、他者意見を自分にかす(他者参照)メリットがある一方、端末の活用が目的になったり、対話・意見交流が減ってしまったりするデメリットがある。

そこで、GIGA 端末で意見を表現する方法を、Fig jam のスタンプ機能や、付箋の機能など簡潔なものとし、それをきっかけに意見交換ができるような問いかけをすることで、対話する視点や対話する相手を選ぶことができた生徒もいた。また、付箋の並び替え機能では、色を指定しておくことによって、各班やバラバラに貼った付箋でも意見の種類別にできた。

整理された付箋や、全員の付箋を見て、  
本時の振り返りを考える姿が見られた。

ネパールのビールから・・・(11月 27日)

二人の生き方を読んで、なりたい自分に向けて頼まれたことや約束を渡そうとしたり怒るようなことがあっても相手を心配する「優しい気持ち」がよりよく生きることに大切だと思いました

ネパールのビールから・・・(月 日)

私は、授業を受けて一瞬の感情だけで一人の人のことを決めつけることはあんまり良くないなと思いました。なので、これからは人のことをよく見てなんでその人はそうしたのだろうと考えてみたいです。一瞬の感情にとらわれずいろいろな角度から人を見てその人の良いところを探していきたいです。

ネパールのビールから・・・(11月27日)

4つの山を越してまで人との約束を全うさせるという責任の強さや、誰でも逃げると思われたのにしっかり正しい道を進めたという、分別をつけれるのは凄いと思った。主人公も、事実がわかるまで「逃げた！許せない！」ではなく自分が相手を狂わせてしまった、軽くお金を渡してしまったという罪悪感でいっぱいになっているところが、自分の過ちも認めているところがいいと思った。

ネパールのビールから・・・(11月 27日)

今回の話の「私」はもしかしたら、チェトリ君を犯罪者にさせてしまっていたかもしれない。その判断は誤ったことだったが、それを「私」は深く反省していた。自分の悪い部分を反省する部分を、私も取り入れていきたいと思った。また、チェトリ君の「頼まれたことに責任をもつ」という考えも、これからの自分に取り入れていきたい。

ネパールのビールから・・・(11月27日)

誰かに対しての優しさや、自分の行動の誤りを気付き、それをただせるような心を持つことが大切だと思った。

この生徒は、授業中の「私(主人公)」の生き方についてのよさを考える際に、付箋を貼っていなかったが、「自分の行動の誤りを気付き」という「私(主人公)」のよさからと考えられる記載が見られ、他者の付箋を参考にしていることが分かる。

### (3) 今後の課題

①誰と交流するかについて、Fig jam で示されたスタンプの位置等を参考にして交流している生徒もいたが、単純に仲のいい生徒、席が近い生徒と交流している生徒も見られた。もちろん、仲のいい人や意見が似ている人と交流するメリットは、「自分の意見に自信がもてる」「安心感」等のメリットがあるが今後は、誰とどんな交流をすることが深い学びにつながるか考えさせた上で、選択させたい。

②今回は、総合と6回のユニット道德のねらいの意識づけ～総まとめまでをすることができた。今後は、道德科の1年間の学習を見通し、35時間目の振り返り方や、そのための初回の授業についてのあり方、について考えたい。

③シャッフル道德の良さと担任が行う授業のメリット、デメリットを学年で考えることができた。今後は有効に組み合わせながら1年間の道德の授業予定を考えていきたい。